

市長と語る市政懇談会

昨年8月5日から10月29日にかけて、市内10中学校区11会場で「市長と語る市政懇談会」を開催しました。この懇談会は、市民の皆さんから市政に対する意見や要望を直接お聞きし、市が答え、市政への理解を深めていただくために行ったものです。

今回は、町内会長をはじめ各地区の皆さん延べ約540人が出席した懇談会の内容を抜粋して紹介します。

問合先 秘書課広聴担当 (☎65・2160)



▲皆さんの意見や要望などにお答えする榊原市長



▲意見や要望などについて発言する出席者の皆さん (抜粋)

方針

市長の公約について

市長は5月に再選されましたが、選挙での公約の意義、重みをどのように考えていますか。

また、今後の任期4年間をどのように取り組んでいきますか。

例えば、吉良地区南部は、農業や漁業、海を中心とした観光開発などが強みで、イベントで活性化を図っているようですが、市長はこの地区についてどのように考えていますか。(吉良)

答 選挙公約は向こう4年間における市政運営の方針を市民の皆さんに提示し、約束するものとして大変重みのあるものと考えています。

私に課せられたのは、新西尾市の将来像と新たな可能性をはっきりと示し、次のステップへの礎づくりを前進させることです。今は公約実現に向けて地道に愚直に徹底的に取り組んでいくことが何よりも大切だと考えています。

吉良地区南部については、市内屈指の観光地として積極的にPR活動を行い、市外からの誘客に努めたいと考えています。さらに、名鉄西尾・蒲郡線の存続をはじめ、海岸部では南海トラフ地震に対応するため、海岸・河川堤防の耐震

工事に力を入れて取り組んでいきます。

子育て

保育園・幼稚園の給食費無料化について

給食費無料化について、多くの保護者が喜んでいらっしゃる一方で、デメリットを心配される声もあります。例えば、味、食材の品質の低下などがなく、今までと同じ内容の給食を食べさせてもらえるのか。もう一つは、衛生面の不安などの声がありました。

現在でも、低料金で栄養のあるおいしい給食をいただいています。「デメリットが出るなら今のままでよい」「無料化するよりも他の教育費用を優遇してほしい」という意見もあります。(鶴城)

答

私は、2期目のマニフェストの6本の柱の一つに「地域を支える文化と人を育む環境づくり」を掲げ、現在保護者の皆さんが負担している保育園・幼稚園の給食費の無料化をお約束しました。これは、少しでも子育てしやすい環境を整えるために、新たな子育て支援策として進めるものです。

現在の給食の内容が、なら変わるものではありませんので、どうか安心してください。

交通

名鉄西尾・蒲郡線の存続対策は

名鉄電車は、幡豆地区の主要な公共交通機関で、学生や高齢者など交通弱者の日常の移動手段として使われています。また、環境保全、地域経済の活性化という観点からも名鉄西尾・蒲郡線は必要不可欠な路線です。

そういう中で財政支援を27年度までの3年間延長していただいたことは非常にありがたいことです。しかし、乗客数の推移を見ますとなかなか増えませんので今後の対策を聞かせてください。（幡豆）

答 市では、名鉄西尾・蒲郡線の存続は、最重要課題の一つと捉えています。路線の存続に向けては、愛知県や蒲郡市、にしがま線応援団をはじめ、西尾市全域で取り組んでいます。

にしがま線応援団には、「片道電車のちよこつとウォーキング」や「友引市」など、日々利用促進に向けて活動にご尽力をいただき、厚くお礼を申し上げます。



名鉄西尾幡豆駅周辺で春と秋に開催される友引市

この問題を解決するには、やはり、この路線に乗っていただくか対策はないかと考えています。「乗って残す」ことが最良の方法です。友引市などは、たくさんのお客さんでにぎわっています。いろいろな企画を皆さんでぜひ立て、この地域を盛り上げていただきたいです。

矢田小学校区内の交通渋滞の解消策について

矢田小学校区内の道路ですが、東西方向は主な道路が5本ほどあり、渋滞しませんが、南北の道路は米津に至る道1本しかなく、特に国森町と上矢田町地内の交通渋滞は年々激しくなっています。以前から話題になっていて都市計画道路の田貫徳永線の開通が、その解消策の一つのように考えますが、現在の進捗状況を聞かせてください。（平坂）

答

交通渋滞では、大変なご迷惑をお掛けしています。都市計画道路路田貫徳永線の市道平坂上矢田線（平坂中学校南側道路）と県道岡崎碧南線（西尾勤労会館北側道路）の間は、羽塚西土地区画整理事業の進捗に合わせて、29年度末の完成を目標に事業を進めています。

これにより、県道岡崎碧南線との交差点に信号が設置され、県道

西尾幸田線までの間が29年度末に全線供用開始の予定で、交通渋滞の解消に寄与すると考えています。

通学路に歩道の設置を

室町交差点から東進して、室場なかよし園に行く道路は、室場小学校の通学路にもなっています。昨今は国道23号への抜け道となったり、福祉施設の送迎車両が増えたり、室場なかよし園が開園したりして交通量が増大しています。交通事故を防ぐため、歩道を設置して人と車を分離する対策をお願いいたします。（東部）

答

室場なかよし園開園の際は、地域の皆さんにご理解とご協力をお願いいただき、ありがとうございます。周辺の交通安全対策として、グリーンベルトの設置と市営父々橋住宅の用地を使って歩道を拡幅しましたが、十分な安全対策であるとは認識していません。

そこで、室町交差点から父々橋住宅の区間に

おいて、今年度より用地測量と実施設計を行い、来年度に用地取得、物件移転補償を行って、27年度には歩道



歩道設置が進められる室町交差点東の道路

を設置したいと考えています。付近住民と地権者の皆さんには、ご理解とご協力をお願いします。

防犯

子どもたちの安全・安心のために

防犯情報のメール配信サービスを受けていますが、最近は交通事故だけでなく、不審者情報もとても多く入ります。

学校や保護者、地域住民である私たちが密接に連携して、日常生活を見守ることが大切ですが、行政も地域全般の安全・安心のために、より一層の防犯強化をお願いします。（一色／関連意見：西尾）

答

一色地区の全小学校区では、子どもたちのために、老人会がスクールガードとして、要所での立ち番や通学班への付き添いに取り組みでいただいております。誠にありがとうございます。

通学路については、定期的な学校の点検活動のほか、PTAや町内会からの情報やキッズパトロールの巡回などにより、日常的な安全確認に努めていただいております。さらに、安全対策に万全を期すために、地域ぐるみの監視も必要となっております。今後、地域をあげての協力をお願いしていきたく考えています。

防災

津波発生時の避難場所はどこが
良いか

吉良町富好地域は「西尾市標高マップ」を見ますと、全地域で標高が2mを超える所がありません。津波が来た場合、どこへ避難したらよいか、また一時避難した場所が安全かどうか非常に心配です。候補地としては、正法寺山、吉良ゴルフ場、八幡神社、小山田神社が良いと思いますが、どこが良いか教えてください。(吉良)

答 内閣府が示している南海トラフ巨大地震の津波被害の想定では、西尾市沿岸部への津波到達までに約50分程度の猶予があるとされていますが、市としては、市民の皆さんに一刻も早い避難をお願いしているところです。

避難場所は、おっしゃった候補地が最適であると考えます。これら以外では、高い所で、できれば雨露がしのげる場所を選定してください。

また、富好地域は人口が多いため、全員が同じ場所に避難するよりも分散避難の方が良いのではないかと思います。実際に、荻原小学校区のように、それぞれが最寄りの場所へ分散して避難する方法をとっているところもあります。

施設

愛知こどもの国について

愛知こどもの国は、来年度からNPO法人フロンティア西尾が運営しますが、市は、どのような関係を持つていくのですか。

昨年度は植樹祭、駅伝大会などの催しが行われましたが、愛知こどもの国の利用者が増えれば、市が補助金を出している名鉄電車の利用者も増えます。沿線の住民として、存続が市民の大きな税負担とならないようにしたいものです。(幡豆)

答 愛知こどもの国は、県の行政改革の中で廃止も含めた施設の見直しが行われましたが、地元の皆さんが1万2千人を超える廃止反対の署名を集め、私に届けてくださいました。私は直接、大村知事に手渡し、存続を要望しました。

25年2月に発表された見直し案では、「地元の積極的な関与のもと、維持費の軽減を図り、当面は県立の児童遊園として全体を維持していく」こととされました。

NPO法人フロンティア



さらなる活性化を目指す愛知こどもの国

西尾は、効率的な運営管理により経費削減を図り、施設の維持存続と活性化に努めていくお考えです。市としてもさまざまな手法を使い、貴重な地域資源である愛知こどもの国の活性化に努めます。具体的には、積極的に市主催行事などの会場として活用するほか、フロンティア西尾、県、地元商工団体と連携し、名鉄西尾・蒲郡線と併せた利用促進に努めていきます。

子どもたちが外で遊べる場所(公園など)を増やしてほしい

西尾市は、子どもたちが外で遊べる場所があまりないように思います。幼少期の外遊びや自然とのふれあい、体を動かすことは、体力、知力の向上につながります。

近年、室内遊びが増えている子どもたちに、安心して外で遊べる公園などを増やしてください。外に出ることで地域とのふれあいにもつながっていきます。(西尾/関連意見：鶴城、平坂、寺津)

答

ご意見のような自宅の近くで安心して遊べる公園を増やすためには、用地の確保などが必要です。例えば、協力していただける方から用地をお借りし、整備を行う借地公園などでもできないか、現在研究をしていますので、今しばらく時間をください。

学校のグラウンドの芝生化について

学校のグラウンドの芝生化を進められています。芝を植えれば雑草がたくさん生えますし、いろいろ手間もかかります。それで、学校、PTAなどが苦労しているといううわさを聞きましたが、市長は聞いていますか。(福地)

答

私は保護者の方などに負担がかかるという話は聞いていません。芝生化については条件があります。芝生の整備は市が行いますが、維持管理は地元の皆さんにお願いし、手を挙げられた所へ整備をします。従って、市からやってほしいということではありません。手間暇をかけないと本物はできません。

私は市政運営で「協働」をお願いしていますが、地域や団体の皆さんが本当に努力をされた所は良くなります。

先日、芝を植えた矢田小学校へ行きましたが、児童に感謝されました。「雑草が生える」とか「保護者に負担がかかる」と言う所には、決してお勧めしません。



対面式で行われた市政懇談会の様子

寺津ふれあいセンター周辺の整備を

寺津保育園の周辺で土地区画整理事業が計画されています。園も事業地内にあり、早期の建設を要望している都市計画道路も園をかすめる位置となっています。

巨海保育園の老朽化も考えると、公共施設の再配置計画の中で、2園の統廃合も視野に入れて、寺津ふれあいセンター周辺に配置していただき、併せて周辺の環境整備を切望します。(寺津)

答

寺津ふれあいセンター周辺の整備について、現在計画はありませんが、保育園などをはじめとする公共施設を統廃合していくことは、次世代への財政負担を軽減するため必要と考えています。

市では現在、公共施設の数を段階的に圧縮し、効率的で効果的な施設配置を実現するため、「公共施設再配置」を進めていますので、ご理解をお願いします。

地域振興

佐久島の活性化と現代アート事業に関する予算の継続を

十数年前から島の過疎化が激しいため、行政に相談して現代アートを取り入れ、活性化してきた結果、数年前から交流人口が急に増

えてきました。アート作品のメンテナンスにもお金がかかります。5年くらいの中長期スパンで予算面の支援を考えていただきたい。(佐久島)

答

アートを基軸とした島おこしを、島の皆さんが主体となって取り組んでいることが報道され、島の認知度が上がり、交流人口が増えていることは大変ありがたいです。佐久島は市の重要な観光資源です。予算面の支援は、市の財政状況や他の事業との兼ね合いを見て、予算確保に努めていきます。

なお、地域の活性化は予算も必要ですが、マンパワー、人の力が最も重要であると考えていますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。



市の重要な観光資源である佐久島

農業副都心構想の実現を

福地地区は市の南の孤島でした。3町と合併して、市の中心地域になりましたが、やはり陸の孤島でどこへ買い物に行くにも車が必要です。車に乗れない人は大変不便です。

市は「農業副都心構想」を掲げ、農業、水産業などの6次産業化を進めるのですが、ぜひ実現してください。(福地)

答

私は、2期目のマネフェストで掲げたとおり、福地地区に農業副都心となる中核施設を建設し、農業、漁業の6次産業化を進めていきたいと考えています。7月には市役所に「6次産業創造プロジェクトチーム」を立ち上げました。詳細は「農業副都心構想検討委員会」で開発するエリアや整備する施設などを検討し、スピード感を持って産業の振興を図ります。

医療

市民病院改善の取り組みについて

市民病院は、市民にとって身近で頼りになる病院ですが、最近の医師不足の影響が出ているように聞いています。少子化の時代に分娩が休止していることは非常に残念ですし、他の診療科目も含めて今後どうなるか心配しています。

診療科目の充実と経営改善の取り組みの現状、将来に向けた考えをお聞きます。(鶴城/関連意見：吉良、東部)

答

ご意見のとおり、産婦人科の分娩と小児科の夜間救急診療を医

「市長と語る市政懇談会」の会議録を市ホームページに掲載しています

市政懇談会では、市民の皆さんからさまざまな意見や要望をいただきました。詳しい内容は、市ホームページに掲載している『平成25年度「市長と語る市政懇談会」会議録』でご覧いただけます。また、市役所の行政情報コーナー（1階）でも会議録が閲覧できます。

師不足により休止し、皆さんには大変申し訳なく思っています。4月に就任しました新院長は、病院再生へのビジョンを掲げ、医師の確保に力を入れ、大学医学部など40か所を訪問して医師の派遣を要請し、診療を断らない救急医療体制の構築を第一の構想に掲げています。

病院の経営改善は経費の節減はもちろんのこと、患者さんの確に治療できる医師を配属することを最優先に考え、私も数回、大学や県知事へ医師の派遣を要望しています。さらに、医師確保のために医学生への奨学金制度を設け、市民病院がこの地域になくはない病院として、また、皆さんが安心して診療を受けられるよう改善に取り組んでいきます。